



巻頭記事 年頭にあたり (医療法人八重瀬会 理事長 山内英樹)
 医局便り 絵心 (同仁病院 麻酔科 笠間晁彦)
 特集記事 第35回 医療法人八重瀬会 忘年会
 セクションたより 総務室・経理課・人事課

2020
 1月

広報 vol.247

「正確な診断」「適切な治療」「良質な対応」

医療法人 八重瀬会
 **同仁病院**

創立100周年 これからも地域と共に



年頭にあたり

医療法人八重瀬会 理事長 **山内英樹**

2020年 令和2年を迎えました、明けましておめでとうございます。

まずは、年末年始、業務に当たられた皆さん、本当にご苦労様でした。今年は、暑くもなく寒くもなく心地良く新年を迎える事が出来ました。

令和最初の正月、我が家は例年と少々異なる元旦でしたが、皆さんの年末年始はどうでしたか。

いつものように昨年、平成31年から令和元年を簡単に振り返ってみましょう。

何より、沖縄の象徴でもあった、首里城の炎上は現実とは思えない衝撃でした。一日も早い復興を願うばかりです。米・トランプ旋風は相変わらず、米中経済摩擦、激化する香港反政府デモの行方は？GSOMIA脱退、撤回と日韓関係の見通し不透明、英EU離脱決定的、も気になる所です。

わが国では、まず新元号・令和ですね、続いて消費税10%、安倍首相在職史上最長。京都アニメ放火36名死亡は悲しい出来事でしたし、前年に続き自然災害・台風が多い年でもありました。アフガンであれだけ支援活動していた中村医師襲撃死は何とも言い様の無い・・・。嬉しい話題、吉野彰氏のノーベル化学賞受賞、テニスで大坂なおみ選手が全豪オープン優勝、ゴルフの渋野日向子選手全英オープン優勝。ラグビーW杯日本開催、日本チーム初のベスト8で一気にラグビー熱が上昇しました。年末に飛び込んできたゴーン元日産会長の違法出国は唖然でした。沖縄、観光客1000万人突破は嬉しい話題でしたが、同時に地価上昇率全国1位、宮古島は最早バブル状態、は何とも複雑。ゆいレールの浦添延伸がなりました。西海岸パルコシティ、セブンイレブン等大型店舗オープンが相次ぎました。西武・山川穂高選手2年連続ホームラン王は快挙でした。が、やはり日本政府と県政の対立は気になります。新語流行語はラグビーから「ONE TEAM」、漢字は「令」となりました、皆さんの漢字は？

(医)八重瀬会、同仁病院です。まずは3月、待望の「やえせAssemble Garden」が稼働開始となりました。沖縄初、希望いっぱいの施設が八重瀬会に誕生しました。南新館増築に伴い本館改修、南駐車場閉鎖、院内売店移動等。患者さんやご家族、職員、皆様に大変なご迷惑をおかけする事になりますが、将来布石への重要な事業です、ご理解を頂きスタッフ一致協力して乗り越えて行きたいと思えます。内科・江田はるか先生、東京医科歯科大学整形外科より小林秀彰先生続いて田村聡至先生入職は嬉しい限りです。入退院支援センターが稼働しました。病院敷地内城間自治会地空中権使用認可は長年の懸案ただけに大きな安堵でした。沖縄県初、PRP・APS再生医療施設認可、鹿児島銀行・病院債権契約は嬉しい成果でした。当院中心の浦添市民公開講座、日本病院総合医学会学術総会シンポジウムは大きな評価を得ました。又、同仁病院ゴルフコンペ200回達成、遊びとはいえこの継続は大きな誇りです。

今年はオリンピックイヤー、日本社会の大きな変革が予想されます。そして診療報酬改定が待っています。南新館工事が本格化します。やえせAGの一層の確立、DPC確認・見直し、地域包括ケアシステム、地域医療構想等への対策、各々必要です。消費税アップ影響、働き方改革の行方も気になります。いろいろ出て来そうですが、われわれは乗り越えられます。

最後は例年通り、干支に触れておきましょう。年は子年、12支の1番目、深夜の0時前後、北の方角を指し、新しい物事や運気の始まり、種々芽生える年と言われている様です。

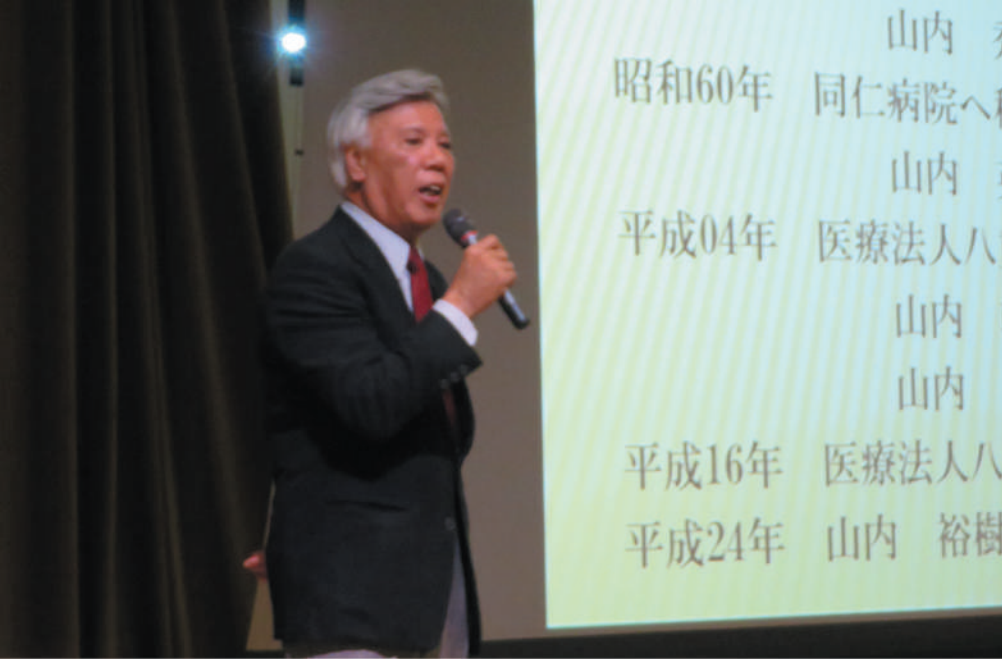
希望一杯の年になります。気分一新、再スタート、で、又今年一年一緒に、全員で頑張っていきましょう。

宜しく願います。

第35回 医療法人八重瀬会

忘年会

開催日 令和元年12月25日
場所 ザ・ナハテラス(アダン)
参加者 職員、来賓、関係者
(合計303名)



■私たちは「美女の舞」チームです。
栄養科、薬剤科、ドクターズクラーク、歯科口腔外科、連携室で構成された余興チームでした。いろんな科がまざったチームでしたので、集まって練習を合わせるのが難しく大変でしたが、普段交流のない科とも連携して練習し仲良くなって楽しかったです。
「オタゲー」は最高に上手で見所満載だったと思います。
▼リーダー 松堂香織(歯科口腔外科)

時が経つのは本当に早いもので、あっという間に一年が経ちました。
その締め括りとして、毎年恒例の令和元年(平成31年)第35回 医療法人八重瀬会 忘年会が行われました。
今年も職員、関係業者を含め303名の参加となりました。
開会の挨拶にはじまり、Deal♪など余興では大変盛り上がりしました。
そして、今回もサプライズ余興ということでミスターXによるパフォーマンスで更に盛り上がりしました。



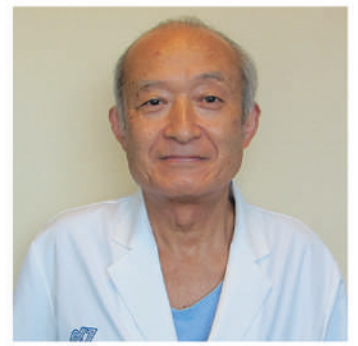
■昨年の3月より在宅介護部は、「やえせAssemble Garden」と複合施設になり、10か月が経ち少しずつ事業所間スタッフのコミュニケーションも取れ、最初は参加人数が集まるか不安でしたが、積極的に手を上げてくれ、積極的に取り組む事が出来ました。
皆さんに楽しんで頂けたならなによりです。
やえせAG皆でこれからも結東力(ワンチーム)で盛り上げていきたいと思います。
▼リーダー 小橋川拓也(美ら園)

曲の合間に玉城副主任の進行で、普段見られない(?)先生方のショートコントが何発も飛び出し会場を沸かせていました。最後に自分のお面を付けた喜屋武部長が登場。お面を外し、生顔を出した時は拍手喝采でした。
理事長賞に輝くとは思っていませんでしたので、とてもうれしく感じています。ありがとうございます。
また、練習の時間はあまりありませんでしたが、協力してくれた外来・内視鏡のスタッフの皆さま、芸を披露して頂いた先生方、忘年会を進行して頂いた互助会役員の皆さまありがとうございました。
▼リーダー 榎本綾子(外来)



■忘年会の余興は何年か一度、外来にも回ってきます。
昨年は内視鏡室、医局の先生方を巻き込み二本立てで構成しました。
昨年流行った「パブリカ」の曲に合わせて踊りました。
今回のミノは全員で喜屋武部の顔のお面を付けたことだったと思います。会場がどっと沸いた気がします。





麻酔科 笠間 晁彦

『 絵 心 』

昨年11月、絵心があるわけではないのですが、コートールド美術館展とゴッホ展を見る機会がありました。

前者はロンドンのコートールド美術館所蔵で日本人好みの印象派の絵画を集めたものでした（マネ・ルノワール・セザンヌ・ドガ・モネ・ゴッガン）。

この展覧会で最も心を惹かれたのは、マネのフォーリー＝ベルジェールのバーという絵でした。これは当時のパリにあった高級社交場のバーカウンターでバーテンダーをしている女性の絵です。女性たちは金持ちのパトロンを求め、男性は高級コールガールを求めて集まる社交場です。カウンターの女性は、目は虚ろで表情がなく、解説によるとこの女性もコールガールでマネが心を寄せていた女性ようです。底辺で暮らす人々を描く事で人間本来の姿を求めていたように見え心を惹かれました。

後者はゴッホの絵を集めた展覧会です。

彼の画家としての人生はわずか10年で37歳でこの世を去っています。彼はオランダの牧師の家に生まれ14歳で中学校を中退し16歳で画商に務めますが、20歳の時、下宿先の娘に恋をし振られてしまいます。そのせいもあったのか23歳で画商を辞め、伝道師の道に進みますが、途中で挫折し弟の元に身を寄せる事になります。この頃から絵に興味を持ち始め画家になる事を決意します。

画家としての当初の絵は、のちの「ひまわり」のような明るい色彩はなく黒をベースとした暗い絵がメインで [ジャガイモを食べる人々など]、失恋を繰り返す愛に飢えた暗い心の持ち主であったようです（一人は未亡人、一人は身重の娼婦、一人は服毒自殺を図る）。この数年後、生活の場をパリに移し、ここで印象派の画家と出会い、更に浮世絵と出会った事から画風と共に色彩にも変化が見られるようになったようです [タンギー爺さん]。しかし無名のゴッホにとってパリはさほど過ごしやすい所ではなく、ユートピアを求めて南フランスに移り住み制作に打ち込むこととなります。この頃の絵は黄色が多く取り入れられ、代表的なものに [ひまわり・アルルの跳ね橋・夜のカフェテラス] があります。非常に穏やかな絵で安心して鑑賞できる作品ですが、この後理想郷を作るべくパリからゴッガンを呼び寄せるのですが、意見が食い違い口論の末自身の左耳を切断し入院となってしまいます。この頃から精神病の発作が度々繰り返され、翌年には精神病療養場へ収容されてしまいます。しかし発作の無い時は自由に絵を描くことが許され何枚かの絵を残しておりますが、画風は大きく変化し心の底にある魂の葛藤をキャンパスにぶつけているようにも思われます [糸杉・星月夜・鴉の群れ飛ぶ麦畑等、個人的には糸杉がお薦めです]。これらの絵を見ていると、心の底で何だか解らない熱い魂が暴れまわっているような感覚に陥ってしまいます。ゴッホの絵は「ひまわり」くらいしか知らなかったのですが、この絵画展を見てゴッホの内面を垣間見たような気がしました。

偶には絵画展に足を運んでみては如何でしょうか！

※ [] 内は絵の題名です。



「令和2年1月、臨床工学技士室と検査室のユニフォームが新しくなりました。心機一転で業務に進進してまいります」（睦元）

【左】川邊慎也（臨床工学技士室）
【右】睦元 聡（検査室）



「リハビリテーション科で統一されたユニフォームでしたが、令和2年1月から、PT、OT、STと職種別にイメージカラーで分けています」（新川）

【左】吉浜幸乃（リハビリテーション科 OT）
【中】新川将悟（リハビリテーション科 PT）
【右】國吉光太（リハビリテーション科 ST）

平成30年夏。看護師の制服変更を皮切りに、各部署の制服が変更になりました。各部署とも、色合いが明るく、毎日気持ちもアゲアゲで仕事に取り組んでいます！



新ユニフォーム紹介

「平成30年7月に看護部、平成31年4月にOPE室、職種別に制服が変わりました。色鮮やかな制服に身を包み、医療の質の向上に努めてまいります」（名幸）

【左】富盛愛梨（A病棟 看護師）
【右】名幸千尋（OPE室）



「令和元年5月にドクターズクラーク・医事課・コンシェルジュ、令和元年6月に総務室・企画室・人事課・経理課の制服が変わりました。新鮮な気持ちで、業務に取り組んでいます」（喜屋武）

【左】原國結香（ドクターズクラーク）
【右】喜屋武綾野（総務室）



「平成31年6月に歯科衛生士、令和2年1月に放射線科とアシスタントの制服が変わりました。個人的にですが、新制服は肩やお腹まわりが多少強調されるので、運動するようになりました」（平山）

【左】小波津若菜（ナースアシスタント）
【中】平山健太（放射線科）
【右】大嶺彩乃（歯科衛生士）

市民公開講座

『膝関節の痛みと最新の治療方法
(再生医療PRP・APS)』開催

12月15日、サンパレス球陽館にて市民公開講座『膝関節の痛みと最新の治療方法(再生医療PRP・APS)』が開催されました。

同仁病院では沖繩県内初の再生医療(PRP・APS治療)専門外来を開始しております。

関節痛や筋・腱・靭帯等の痛みで困っている皆さまが、スポーツの再開や日常生活復帰を目指す際、この再生医療が治療の選択肢の一つとなるよう、市民公開講座にて、当院の整形外科医である山内裕樹院長代理が関節について、比嘉清志郎医師が膝関節についての講演を行いました。

◆受講者の声

- ・初めてAPS療法を知り、治療の選択肢が増えました。整形外科に通院の経験はありませんが、大変参考になりました。
- ・変形性膝関節症がどういう症状なのか分かりました。リハビリの重要性を再確認してもらいました。ありがとうございました。
- ・母親の膝の痛みをどうにかしてあげたいと思いました。すぐにはいかないですが、受診してみたいと思いました。
- ・日頃、再生医療について気にしていました。本日は良い機会の提供に感謝します。

医療機能の充実と医療・介護
サービス向上のために

医療法人八重瀬会理事長

山内英樹

雲ひとつない晴天に恵まれた1月21日、南新館増築工事開始に伴う安全祈願地鎮祭が、現・南駐車場で行われました。

同仁病院を開院して35年目という節目に施行されるこの大規模な工事について、その詳しい内容や目的、そして想いを聞かせていただきました。

今回の大規模な本館改修、増築工事の目的と主な
施工業者を教えてください。

設計は有限会社宮森設計、工事施工は株式会社東恩納組の陣容で工事が進められます。目的は、医療機能の充実及び皆様方への医療・介護サービス向上、と言ふ事に尽きます。

具体的に申しますと、改修は、外来部門整備、ドック健診部門強化、薬剤科拡充移転、医局・看護管理部・事務部門強化、発熱対応スペース確保、そして女子職員更衣室整備等が行われます。

増築に関しては、透析施設拡充整備、無菌室を伴う手術室増室を中心に、駐車場整備、男子職員更衣室、情報技術室(IT)部門、会議室ホール拡大、狹隘部分整備等、かなり大がかりなものとなります。

いろいろ充実する中で、女子職員更衣室の整備は、私たち女子職員にとっては嬉しい話題です。
工事期間はどの程度を見込んでいるのでしょうか？

当初の予定より、工事開始が大幅に遅れたのですが、現在、工期は約14ヶ月と聞いています。拙速は困りますが1日も早い完成を祈るばかりです。

最後に、この工事にかかる想いをお聞かせ下さい。

思い返すと、この地で、「やえせAG」を除く事にはなりません。地鎮祭を行うのは3度目となります。昭和60年病院立ち上げ、次いで、平成10年大型増築、で今回です。

私にとっては、各々とても印象深く、工事中の苦しさを含め多くの思い出があります。しかし、地鎮祭から、すなわち各工事を機に同仁病院が、あるいは医療法人八重瀬会が、間違いなく大きく発展、充実しています。結果、各々正しい判断であった事は、とても嬉しい限りです。

今回の工事も大規模で、騒音、粉塵、振動など患者さんをはじめ多くの方々にご迷惑をおかけする事になるかと思いますが、一層の地域貢献、当法人基盤整備将来に備える為、どうしても必要な工事となります。ご理解、ご協力を頂いて、職員全員でしっかり良い形で乗り越えて行きたいと思っております。楽しみも大きいですよね。どうぞ宜しくお願いします。





スタッフ紹介

- <総務室> 部長：田場 朝和(後列左)、室長：金城 宗大(後列中央)、
喜屋武 綾野(前列右)、富原 千秋(前列左)
- <経理課> 部長：大城 幸善(後列右)、呉屋 水穂(前列右から2番目)、
松本 紋(前列左から2番目)、比嘉 このみ(※産休中)
- <人事課> 主任：眞喜屋 千賀子(前列中央)



総務室

主な業務

- *文書に関すること *医師登録等届出文書に関すること *病院公印の管守に関すること
- *院内会議に関すること *病院施設の総合管理、保守、防火の指導・監督、駐車場管理に関すること
- *電話交換に関すること *車両、汽罐、営繕、リネンに関すること
- *他殊に属さない事項に関すること *システム情報に関すること *院内掲示に関すること
- *関係資材、材料等の購入に関すること *不用品の廃棄処分に関すること

コメント

総務室の業務は多岐にわたり、病院はもちろん法人全体の事務として総合的な役割を担っています。縁の下を支える部署として「May I help you?」を常に心掛けています。

経理課

主な業務

- *理事会指示の基、資金計画、融資計画、事業計画への意見等に関すること
- *法人全般、各部門収支状況の把握に関すること *経理一般に関すること

コメント

経理課では主に八重瀬会全体の日々のお金の流れを数字で管理しています。経営にも関わる大事な情報なので毎月正確に処理することを目指しています。

人事課

主な業務

- *人事全般に関すること *昇進、昇格、降格、異動等の人事考課及び評価に関すること
- *勤務態度、勤務形態、勤務状況に関すること *職員の社会保険の手続き等に関すること
- *職員の給与に関すること

コメント

他にも福利厚生や職員の入退職時の手続き等の業務、また職員が働きやすい環境づくりが出来るよう、コミュニケーションを大事にしています。

第4回 沖縄100Kウルトラマラソン 照屋郁美（手術室看護師） 完走！

【本人コメント】

令和元年12月15日（日）南部地区にて開催された『沖縄100キロウルトラマラソン』へ参加し12時間49分で無事完走しました。

早朝5時に与那原（与那古浜公園）をスタートし、南部の海岸沿いを走り、50キロ先の糸満市役所で折り返し。再び、ゴールの与那原（与那古浜公園）を目指します。

海辺から昇る朝日に見守られ、快晴な空・海・山の自然の景色を楽しみながら…とは言いつつ、アップダウンの激しいタフなコース心が折れそうになりましたが、85キロ地点のニライカナイ橋からの景色は絶景で、感動でした。

応援して下さいました皆様、大会関係者の皆様に感謝でいっぱいです。



第201回 同仁病院ゴルフコンペ 結果報告

日時：令和2年1月15日 7時36分スタート
場所：沖縄ロイヤルゴルフクラブ

優勝 玉城大樹（内視鏡センター 副主任）

コメント
第201回同仁病院ゴルフコンペと令和元年度取切杯のダブル優勝をすることができました。院長や小禄さん、松川さんと一緒に回らせていただき、緊張感がある中でも穏やかに楽しい雰囲気ゴルフをすることができました。結果として優勝することができ、最高の気分でした。今後もほどこにスコアを伸ばせるよう精進してまいります。



▲この後、『奇跡の目撃者』となることをまだ誰も知らない

- 2位 立津 統（リハビリテーション科）
3位 豊島 亮（企画戦略部）
- <ドラコン>
南山No.5 山入端可代美 中山No.5 宮城晴彦
- <ニアピン>
南山No.3 豊島 亮 南山No.8 小禄健治
中山No.4 西江昂平 中山No.6 豊島 亮



▲見事ダブル優勝を果たした玉城副主任



▲奇跡を起こしたが惜しくも準優勝の立津部長

- <令和元年度取切杯>
優勝 玉城大樹
- <ホールインワン>
中山No.4 立津 統



令和2年1月15日（水）に開催された第201回同仁病院ゴルフコンペで、生涯初のホールインワンを出しました。これまでの200回大会でも初の快挙だそうです。ロイヤルゴルフクラブ・中山コース No.4 距離135ヤードで、クラブは8番ウッド、BRIDGESTONEゴルフボール（byピックワン）でした。皆と共に喜びを分かち合いたと思います。感謝、感激です。



日本整形外科学会専門医による

膝・スポーツ外来 & 股関節外来

整形外科分野
沖縄県内初!

再生医療外来

PRP療法
APS療法



保存療法から手術まで、患者さんと相談し最適な治療を提供します。

股関節外科



院長代理・整形外科部長
やまうち ゆうき
山内 裕樹

股関節、脊髄・脊椎外科を主な専門とし、股関節疾患は全国でも高レベルな医療を実施しております。整形外科についてお困りのことがあれば是非ご相談下さい。

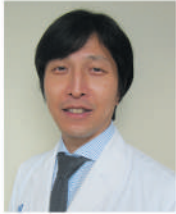
膝・スポーツ外科



整形外科医長
ひが せいしろう
比嘉 清志郎

膝・スポーツ外科が主な専門です。人工関節手術や靭帯再建術を中心として治療を行っております。

膝・スポーツ外科



整形外科 非常勤医師
金子整形外科内科
院長
はら けんじ
原 憲司

人工膝関節は現在平均年200例ほど執刀しております。膝関節鏡も精通しており、プロスポーツ選手の方々も執刀も多数手掛けております。

整形外科 外来 週間スケジュール (※祝日は休診日となります。)

	日	月	火	水	木	金	土
午前	外科での対応	山内 裕樹 比嘉 清志郎	比嘉 清志郎 當間 孝	休 診	山内 裕樹(第2・4・5) 原 憲司(第1・3) 田村 聡至	当番制で診療 (手術日)	山内 裕樹 比嘉 清志郎
午後	休 診	再生医療外来 ※予約制	山内 裕樹 田村 聡至		照屋 徹	外科での対応	田村 聡至

発行者



医療法人八重瀬会 同仁病院
企画室 広報誌制作チーム



〒901-2133 沖縄県浦添市城間1-37-12
TEL 098-876-2212 FAX 098-876-4209

■編集後記

新年、明けましておめでとうございます。令和2年がスタートしました。皆さまにとって良い年となりますように。広報同仁は、新年号から内容盛り沢山で読み応えある仕上がりになりました。これからも、皆様が満足する広報誌を作成していきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。 [豊]

八重瀬会 同仁病院
Facebookページ

